

1 富国強兵、工業化路線

- 1) 軍艦建造 水戸斉昭の建議 1853/11 石川島に造船所
- 2) 1877/8 第一回内国勸業博覧会(上野) 出展8万4千 入場45万人
- 3) 第二回(1881) 82万人 第三回(1890) 102万人
- 4) 1871(明治4) 工部省設立 鉄道建設、鉱山開発、深川セメント、品川硝子
- 5) 軍所管の工場 砲兵工廠(小石川)、海軍工廠(築地) 火薬工場(板橋)
- 6) 民営工場化(1880頃から) 政府払い下げ

2 工場立地と公害問題

- 1) 水利用 水運(隅田川、神田川、石神井川、淀川、神崎川)
- 2) 江東地帯 多様性 芝浦、品川、大森、蒲田
- 3) 官営⇒民営化(払い下げ) 日清戦争による進展
- 4) 浅野セメント降灰事件 地元反対運動 5年後の移転⇒京浜工業地帯
- 5) 煙突・黒煙⇒経済繁栄の象徴(大阪は「煙の都」) 軍の工廠(振動、騒音)
- 6) 河川の汚染 排水
- 7) 都市の未来図(煙突の林立)

3 スラムの発生

- 1) 貧民窟 1892 松原岩五郎「最暗黒街の東京」。1898 横山源之助「日本の下層社会」  
四谷鮫ヶ橋、上野万年町、芝新網町
- 2) 立地①大施設(病院、軍隊、大寺院、工場)の裏  
②埋立地、湿地、火葬場、墓地の近辺
- 3) 住民 人力車夫、土木建築作業員、行商人、漁師、廃品回収業
- 4) 副業 糸繰り、マッチの箱張り、荷車押し
- 5) 不衛生(コレラ、赤痢) 一斉立ち退き
- 6) 都市サービスの下支え、近代工業の底辺、エコシティ
- 7) なぜスラムが発しするか ①東京への人口流入⇒職探しと挫折  
②工場下請け労働者 ③都市サービス労働者 ④貸家資本

4 スラム対策

- 1) 立ち退き論 近代都市の体裁
- 2) 衛生状態の改善 不良家屋の禁止

5 建築規制

- 1) 建築法規の未整備 建築物の利害関係
- 2) 1917 警視庁<<長屋構造制限に関する件>>
- 3) 土地の処分 大地主と余剰地
- 4) 貸家経営 3年で元を取る 質の悪い投資

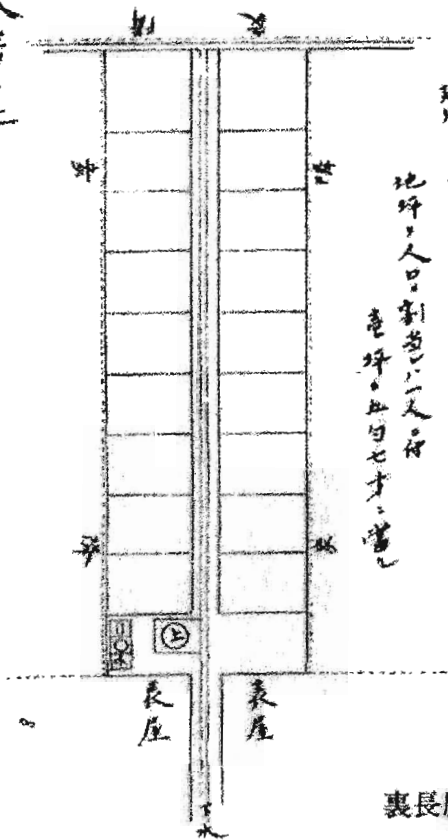
現況圖

新銀町廿三番地裏長屋

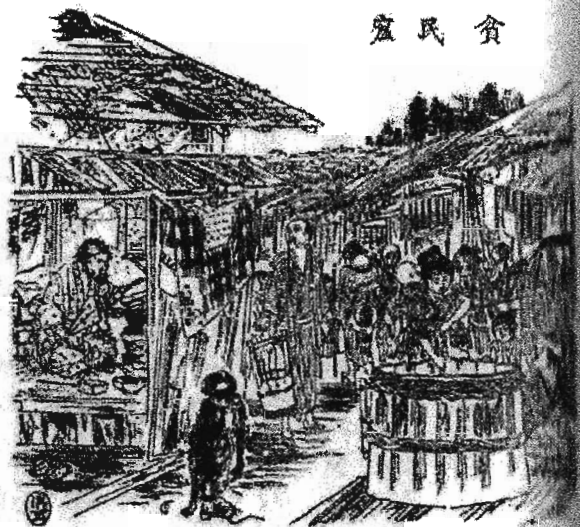
住二階家

地坪九七拾四坪 戸数十八戸  
建坪九五十六坪 人口九七十人

地坪一人口割合二二又五分一  
建坪一人口割合七才三釐



貧民窟



裏長屋実態を示す絵および現況図

右図は、貧民窟の絵（平山鑑二郎『東京風俗志 上巻』富山房，1899〔東京都公文書館所蔵〕より転載）。この絵は、井戸周りの空間の広さ、空や遠景の樹木が見えることから見て、東京都心部の裏長屋の最悪の実態を示しているとはいえない。むしろ、1900年前後に東京市域の周縁に広がり始めた新しい劣悪市街地の例かも知れない。左は、1884年東京府の「神田区市街衛生上実地調査第一号」による裏長屋の